

スピーカーズビューロー

☆スピーカーズビューローってなんだろう？

スピーカーズビューロー(以下SB)とは、精神疾患や精神障害を理由に受けてしまう偏見の訂正や誤解の解消に取り組むために自分の体験や思いを講演し、また互いの交流を通して理解を深め、精神保健福祉に対する正しい知識の普及をして行く活動です。

つまり、「**当事者が自分の病気の体験を語り伝える講演活動**」をしています。

☆講演はどんな人に行っているの？

私たちは自ら体験した精神疾患・精神障害をより多くの方々に聞いていただいて「知ってもらうこと」を大切にしています。

これまでSBでは

〔当事者・家族会・教員職・学生・医療福祉従事者
行政(公務員)・地域住民・民生委員・一般企業〕

などの方々へ講演を実施しております。



☆SBメンバーってどんな人たちが集っているの？

SBメンバーは、医療や専門家の集まりではなく、精神疾患・精神障害を経験している当事者の集まりです。

活動しているメンバーは統合失調症、うつ病(躁うつ病)をはじめ、アルコール依存症、パニック障害、てんかん

の方などが活動しています。

☆講演のほかになんかしているの？

SBでは月に一度集まる定例会の開催や、芋煮会やクリスマス会等の行事もメンバーが主体になり、楽しみながら進めています。

また、「いきなり人前で講演することが不安」という方のためにセンター内でのリハーサルとして少人数で「プレ講演会」というものを行ったり、原稿作りのお手伝いもメンバー同士でサポートしていますので安心して講演に望めます。



定例会の様子です！

「ちょっと近くまで来たから、ついでに寄ってみたよ♪」というメンバーもゆったり、おしゃべりしながら過ごしていますよ！



連絡先は裏面をご覧ください



☆講演者の感想

- ・ Y. T さん (女性、20代、統合失調症)



私はSBの講演を通して自分の体験や思いをお話しして、それが受け入れられることに自分自身について「OK」を出せるようになりました。また、聞き手の方も共感や発見を得ら

れることがあり、それらは聞き手の心の元気の回復にもつながるのではないでしょう



さん (男性、40代、うつ病)

☆聴講者の方々から寄せられたさまざまな

- ・ 息子が統合失調症と診断され、とても不安でしたが、お話を聞きとても気持ちが悪くなりました。(家族)
- ・ 当事者が自分の体験を話す事で、精神障害への誤解や偏見をなくすことにつながると思いました。(学生)
- ・ 当事者の状況を踏まえて提案していくことが大切だと感じました。相手が今どのように感じているかを考えながら対応して行きたいです。(行政職員)



☆SBメンバーになるには? ~登録のご案内~

東北福祉大学メンタルヘルスプロモーションセンターへご連絡をいただいた後に、スタッフよりご説明をさせていただきます。その説明に同意していただければ登録用紙に記入後、メンバーとして一緒に活動させていただきます。

まずは話を聞いてみたいというだけでも構いませんので、ぜひセンターにいらしてください!



連絡先



東北福祉大学
メンタルヘルスプロモーションセンター
〒981-8523 仙台市青葉区国見 1-19-1
東北福祉大学ステーションキャンパス 2階
TEL 022-728-6630 FAX 022-728-6640
E-mail health@tfu-mail.tfu.ac.jp
開設日 9:00~18:00 (土日・祝日はお休み)

交通案内



電車で来られる場合 : JR 仙山線「東北福祉大前」駅
下車 徒歩0分
バスで来られる場合 : 仙台駅西口バスプール15番

☆このパンフレットはスピーカーズビューローの当事者メンバーによって作成されています☆
本事業は東北福祉大学が仙台市からの委託(仙台市精神障害者地域交流促進事業)を受け行っております